

@ 共産黨宣言 **カール・マルクス & フリードリヒ・エンゲルス** **1818.5.5～1883.3.14** **1820.11.28. ～1895.8.5** **堺利彦訳 幸徳秋水訳"**
"そもそも中世の農奴の中から、最初の都市における特許 **市民**（あるひは廓外 市民）が出て来てゐる。そしてその特許 **市民**の中から、ブルジョアジーの最初の要素が発達してゐる。"
中世の特許 **市民**と小農階級とは近世ブルジョアジーの先驅であつたが、工業の發達の遅れた國々では、
また直接に、一つの反動的利益（すなはち特權 **市民**階級の反動的利益）を代表してゐた。
"かくてドイツ社會主義は、次第々々に、この特許 **市民**階級の立派な代表者として、自己の使命を認識した。"
"彼らはドイツ國民をもつて模範的國民となし、ドイツの小 **市民**をもつて模範的人間となすことを宣言した。

@自警録 **新渡戸稻造"1862.9.1 ～1933.10.15**
しかるに己おのれよりは一步進んだ人に育てあげようという目的ならば、これまさしく国家のため善良なる **市民**を捧ささげるのであるから、国家のためといわないで、確かに国家の利益を図はかつておる。
@デカルト哲学について **西田幾多郎"1870.5.19 ～1945.6.7**
"カントの実践哲学は、近代社会における **市民**道徳の基礎附けである。私は決してカントの道徳的規範を無視するものではないが、

@鹿山庵居 **鈴木大拙"1870.11.11～1966.7.12**
"此処に貴族と云うもの、**平民**と云うものをおき、その貴族の中にも公侯伯子男と順序を並べ、また一般の **市民**や役人の中にも位階を設け、正一位であるとか、従八位であるとかやり出す。

"@家の話 **柳田国男"1875.7.31 ～1962.8.8**
大阪のごとき大都市でも、商家で丁稚でっち・手代でだいを採用するに、比較的生活の相似たる **市民**の子弟を採らずして、なるべく粗樸そぼくの田舎者に目を付けた。
"@野草雜記・野鳥雜記 **柳田國男"1875.7.31 ～1962.8.8**
人類をも包含する日本全国の動物中で、首都の鼠族ほど食糧に屈托せぬものはないといつてよい。 **市民**が投げ棄てる食物の余りは、彼等以外の者には到底手の届かぬ、ドブや石垣の蔭にばかり、堆積しているからである。"

@役人の頭 **末弘巖太郎"1888.11.30～1951.9.11**
そこで「人間の世界」にあつては、よき夫であり、よき友であり、よき **市民**である人も、ひとたび役人として行動することになると、ともすれば「法律の世界」に特有な考え方のみをするようになるのです。

@生活と一枚の宗教 **倉田百三"1891.2.23～1943.2.21**
その意味において善良なる **市民**、善いクリスチャンだというふうにならないということにも、生命の真摯さがあるということも考えなければならぬのであります。

"@大阪を歩く **直木三十五"1891.2.12 1934.2.24**
少しばかり、大阪、京都の方が叱るお巡さんが、多いらしい、ということは、叱られる **市民**の多いことで、これは、非文明、非公徳の反映であらう。
"凡そ、これ位人を馬鹿にした話はないが、署長が、余り叱るのは決して巡査の為にも、 **市民**の為にも、名誉な事ではないと云つたという話も聞かない。"
日本の重役とか、官吏とかは、皆こういう人間である。美術館など、本当に市と、 **市民**のことを考えるなら、そんな金の使途は、いくらもある筈である。
都市の面目を考えるなら、美術館を建てる金で、梅田駅前を、清潔にするがいいし、 **市民**に美術教育を与えるつもりなら、矢野君の美術学校へ援助でもするがいい。

"@思想と風俗 **戸坂潤"1900.9.27 ～1945.8.9**
大学はその主体乃至自治権所有者から学生を除外することによって、中世的共同社会から単なる **市民的**利益社会にまで分解發達する。
併しこの大学学団が分解した結果何になるのかという契機を抽出して見ると、単に教授団当局が **市民的**利益社会として再構成されるだけではなく、学生をも含めた学団全体が又、当然一つの **市民的**利益社会として再編成され、
対立は単に大学そのものと **市民**社会との職業地位上の需要供給関係にだけ集中される。

だが宗教が民衆の或いは寧ろ無知な **市民**や農民の、阿片だとすれば、スポーツは中層市民の、或いは特にインテリ **市民**の阿片なのである。"
之によってマルクス主義的世界観は大衆や **市民**がまだその根本的な核心に触れるに至らない内に、早くもジャーナリズムから以前の露骨な姿をかくして、それが当局の左翼弾圧の強化の結果であ"
民労働者は云う迄もなくブルジョアジー自身にとってさえ、決して親しいものではなかつた。夫は殆んど全く小 **市民的**インテリゲンチヤのブルジョア的教養として国外から受け取られたものに過ぎなかつた。"
仏教復興の方は、小 **市民的**インテリジェンスからは縁遠いブルジョアや小 **市民**や、又農民労働者の一部分を、相手にしているのである。

@明々景観.txt"1926.7.25～2010.1.25
"それを使うのは「まち」のオーナーである **市民**のはずだ。"
"魅力的な個性ある都市を見つけることができるなら、そこには「まち」をつくると言う意識をもつた **市民**があり、これを支えるルールや自治体があるからだろう。"
。「まち」とは後にも述べるように、ハードな意味の都市だけでなく、 **市民**の生活やシクミなどの生きたソフトを含むものである。

"デモクラシーといわれる民主主義の考え方が、ようやく世間で取り上げられて来た時代なのだが、この法律では **市民**という考え方は登場していない。
市民は、その土地や建物を収用されたり制限される対象ではあつても、計画の主体としては認められていない。
都市は **市民**にとって愛着はもてないし、自分たちの「まち」の景観とか美しくしようという考えはでてこない。"
"主義の考えも育ってきたから、それで満足するはずがない。高度經濟成長によって豊かになってきた自治体や **市民**は、自分たちのまちを自らの手で、美しく個性あるものにしてゆこうという動きが始まつた。"
"このように景観への意識は、初めは必ずしも法によるものでなく、むしろ法を超え、法に先行した **市民**や自治体の自発的な発想や思いと実践のもとに行われた。
"都市計画法にあつたような **市民**や自治体を無視して、お上が押し付けると言う性格とは正反対のものだ。

"@自由か著作権か？ **リチャード・ストールマン 著"1953.3.16**
ほとんどの **市民**は、先駆的な技術によって浮上してきたこの政治問題を、理解する機会を得ていません。

"@ ハッカー倫理と情報公開・プライバシー **白田 秀彰" 1968.4～**
ネットワークにおける **市民**活動団体として著名な Electronic Frontier Foundation (EFF) はその設立当時から、コンピュータによる政"
ネットワーク上の正当な自由と権利の確立のために、訴訟を支援し、3) ネットワーク利用者の **市民的**権利について啓蒙活動を行うとしている。Electronic Frontier Foundation"